

■桂太郎 軍人政治家。〈日露戦争〉を遂行して韓国併合。"桂園時代"に3度首相となり、〈大逆事件〉も指揮した。

かつらたろう

・ ・ ・ ・ ・ 1847= 長州萩で、萩藩士馬廻役の長男に生まれる。

ペリー来航・1853= 6歳：

松下村塾・・1856= 9歳：

藤田与次右衛門・岡田玄道について和漢学を学び、

桜田門外変・1860=13歳：萩藩が採用し始めた洋式銃陣に入る。

薩摩藩士密航1865=18歳：

明治維新・・1868=21歳： 戊辰戦争では長州藩第4大隊2番隊司令として奥羽を転戦。

戊辰戦争終・1869=22歳： ヨーロッパ留学をめざして横浜英学校に入学、

初の日刊新聞1870=23歳： 大阪兵学寮に移ったが、中退してドイツに留学、軍事学を学び、

廃藩置県・・1871=24歳： 帰国、陸軍大尉として明治政府に出仕。

明治6年政変 1873=26歳：

佐賀の乱・・1874=27歳：

初の民間工場1875=28歳： ドイツ公使館付武官として再びドイツに赴きドイツ軍政を調査・研究する。

大久保暗殺・1878=31歳： 帰国、山県有朋陸軍卿に参謀本部独立を建言し、参謀本部が設置されると管西局長となる。

明治14年政変1881=34歳：

岩倉具視没・1883=36歳：

秩父事件・・1884=37歳： 大山巖陸軍卿一行とともに、ヨーロッパ各国の軍制を視察、

内閣発足・・1885=38歳： 帰国、

帝国大学始・1886=39歳： 陸軍次官となり、プロイセン軍制を範として軍制改革を推進した。

帝国憲法発布1889=42歳：

足尾鉍毒始・1891=44歳： 第3師団長となり、

大本教・・・1892=45歳：

日清戦争始・1894=47歳： 日清戦争に出陣、軍功により子爵を授けられる。

日清戦争終・1895=48歳： \*日清戦争後、台湾総督、東京防衛総督を経て、

子規句歌革新1898=51歳： \*第3次伊藤博文内閣に陸相として入閣。そのあと第1次大隈重信、第2次山県、第4次伊藤の各内閣に留任した。この間、政党内閣の大隈内閣にたいしては閣僚として内部からの瓦解をはかり、

ビアノ国産化・1900=53歳： 義和団事件では中国出兵を積極的にすすめ、列強の仲間入りを果たした。これらの活動を通じて桂は単なる軍人から長州閥の嫡子としての政治家に成長。

田中正造直訴1901=54歳： \*第4次伊藤内閣総辞職のあと後継首班におされ、山県系官僚を網羅して内閣を組織。

教科書疑獄・1902=55歳： 政綱に日英同盟締結の方針をかかげ、これを実現して、内閣の威信を高める。

日比谷公園・1903=56歳： 日露関係の切迫するなかで対露方針を決定、内閣を改造して開戦外交を展開。

日露戦争始・1904=57歳： 日露開戦後は戦争遂行に全力を傾ける。戦争末期には政友会領袖の原敬と3度会談し、戦後には政友会総裁西園寺公望に政権を譲ることを条件に政府への協力をとりつるが、日露講和条約に対する不満は日比谷焼打事件から全国的な非講和運動に発展し、その衝撃もあって、

日露戦争終・1905=58歳： 総辞職し、西園寺を後継首班に推薦。  
以後いわゆる"桂園時代"と呼ばれる一時期が現出する。

韓国反日暴動1907=60歳： 日露戦争の功により侯爵となり、

アラクイ創刊・1908=61歳： 西園寺内閣のあとをうけて第2次桂内閣を組織し、

韓国併合・・1910=63歳： 韓国を併合、その功により公爵に陞爵。同年、社会主義・無政府主義者を徹底的に弾圧し、大逆事件では幸徳秋水ら12名を死刑に処した。

大逆事件判決1911=64歳： 首相を辞任し、元勳優遇の詔勅をうけ元老となる。

明治天皇没・1912=65歳： 政党結成の構想をもって欧米視察に出発したが、モスクワで明治天皇重病の報に接し急ぎ帰国。天皇の死後内大臣兼侍従長として宮中に入る。しかし二個師団増設問題で第2次西園寺内閣が倒れると、宮中を出て3度内閣を組織した。この行動は非立憲的であるとして護憲運動が全国に広がった。苦境に立った桂は政友会をきりくずし立憲同志会の組織を公表したが、

大正政変・・1913=66歳： \*結局、民衆運動の革命化をおそれ総辞職。その後政党组织化に力を尽くしたが、病をえて、没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、歴史有名人の死の瞬間、